

日本体育学会第 69 回大会 測定評価専門領域「優秀発表」

平成 30 年 2 月 13 日

日本体育測定評価学会員 各位

日本体育学会第 69 回大会 測定評価専門領域「優秀発表」審査結果について

将来検討委員会 委員長 山次俊介

日本体育学会第 69 回大会測定評価専門領域における一般発表（口頭・ポスター）について、「日本体育学会大会測定評価専門領域一般発表における「優秀発表」に関する内規」に基づき、厳正なる審査の結果、下記発表演題（口頭発表 2 演題、ポスター発表 2 演題）が「優秀発表」となりましたのでご報告させていただきます。

なお、授賞式は平成 31 年 3 月 2～3 日に札幌国際大学（札幌市清田区清田 4-1-4-1）で開催される日本体育測定評価学会第 18 回大会にて行われます。

審査結果

<口頭発表>

第一位 山次俊介（福井大学）ほか

「歩行と音刺激反応を組み合わせた Multi-task test と易転倒性、MoCA 得点との関係」

第二位 角田憲治（山口県立大学）ほか

「高齢者における歩行および自転車移動許容距離の規定要因に関する大規模調査」

<ポスター発表>

第一位 山田 庸（びわこ成蹊スポーツ大学）ほか

「大学サッカー選手におけるボールポゼッション技能の評価方法の検討」

第二位 吉田 司（国立健康・栄養研究所）ほか

「CPS を基準とした認知機能評価に関連する高齢者の身体機能の特定—亀岡スタディー—」

以上